

平成 21 年度 環境教育関連事業の実施状況

環境教育を進める取り組みの柱

札幌市環境教育基本方針で定めた 4 つの取り組みの柱

- | | |
|--------------|----------------|
| (1) 人材の育成 | (2) 情報の共有・活用 |
| (3) プログラムの作成 | (4) 機会づくり・場づくり |

(1) 人材の育成

◆環境教育リーダー・環境保全アドバイザー派遣 (<http://www.kankyo.sl-plaza.jp/material/>)

「総合的な学習の時間」や市民の環境に関する学習会などへの助言や解説等を行う人材を派遣する「環境教育リーダー制度」と、「環境全般」、「都市と環境」、「消費生活と環境」、「水辺の環境」、「自然観察・自然保護」、「アイヌ文化と環境」、「外国の環境保全」、「環境教育」の 8 つの分野の専門家を、市民の観察会や学習会等に派遣する「環境保全アドバイザー制度」を実施しています。

平成 21 年度は環境教育リーダーに新たに 9 人の方に登録いただきました。

[派遣実績<件数>]

	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度
環境教育リーダー (登録者数 40 人)	24 件 (91 人)	19 件 (51 人)	40 件 (106 人)
環境保全アドバイザー (登録者数 21 人)	38 件	39 件	18 件

※平成 21 年度は 10 月末時点

◆総合的環境副教材の教員用手引書の作成

小学生を対象に配布している「札幌市総合的環境副教材」の教員用手引書を作成するため、平成 19 年度の副教材作成ワーキンググループ委員のうち、教員の方々に作成を依頼し、今年度末に完成する予定です。(印刷・配布はせず、ホームページで公開する予定)

今後の方針

環境プラザにおいて、教員を対象とした研修を今後も行う他、市民を対象とした各種講座を増やしていくことで、人材の育成を行います。

(2) 情報の共有・活用

◆環境プラザホームページのリニューアル (<http://www.kankyo.sl-plaza.jp/>)

環境プラザのホームページを今年4月にリニューアルし、ブログの開設を行うなど、より一層充実した情報の発信を行っています。

◆かんきょう元気通信【新規事業】

(http://www.city.sapporo.jp/kankyo/kankyo_kyoiku/mayor_message/)

札幌市内の児童・生徒の皆さんに、環境を守る大切さについて知ってもらい、そして環境にやさしい行動に、より一層取り組んでもらいたいという上田市長の強い想いを直接子どもたちへ届けるため、市長から各市立小学校、中学校、並びに高等学校の児童会・生徒会の代表の皆さんに、直接手紙を届ける「かんきょう元気通信」を始めました。第1号（別紙のとおり）を7月に送付し、第2号を11月中に送付予定となっています。

◆かんきょう元気新聞【新規事業】

(http://www.city.sapporo.jp/kankyo/kankyo_kyoiku/wall_paper/)

札幌市における環境への取組について知ってもらい、環境についての知識を深め、さらには実際に環境にやさしい行動に取り組んでもらいたいという上田市長の強い思いから、市立小学校5～6年生の全クラスを対象として、環境に関する壁新聞を発行することになりました。

発行にあたっては、高坂委員、三木委員、宮森委員に札幌市環境教育基本方針推進委員会を代表して編集にあたっていただいております。第1号<秋号>（別紙のとおり）を10月に発行し、今年度は冬号と春号の残り2回の発行を予定しております。

◆環境教育関連施設連携事業の実施【新規事業】

市内の環境関連施設（別紙のとおり）の施設担当者とプロジェクト会議を開催し、環境プラザを中心として施設間でより一層連携し、情報を共有・活用するとともに、効果的な環境教育を行うための事業について検討します。

◆環境教育関連施策・事業一覧（平成21年度版）の作成

(http://www.city.sapporo.jp/kankyo/kankyo_kyoiku/project/)

環境教育関連施策の進行状況や今後の方向性を示すとともに、札幌市の各部局で行われている環境教育に関係する事業について取りまとめた冊子を作成する予定です。（平成20年度版、別紙のとおり）

◆こども環境サミット札幌の参加者へ手紙の送付【フォローアップ事業】

平成20年6月27日～29日に開催した、「こども環境サミット札幌」に参加した世界11カ国102人の子どもたちへ本事業に参加した後の活動について教えてもらうよう、市長から手紙を送りました。

今後の方針

リニューアルを行った環境プラザのホームページで、ブログやGoogleカレンダーを活用したイベントカレンダー（えこぼろカレンダー）など、効果的な情報提供を行います。

(3) プログラムの作成

◆総合的環境副教材の修正・教員用手引書の作成

今年7月のごみ排出ルールの変更に伴い、関連部分をワーキンググループ委員に修正していただいている他、高学年ではエネルギー環境教育を取り入れた内容に修正しています。(教員用手引書については再掲)

今後の方針

環境教育プログラム・総合的環境副教材の周知を進めていきます。また、校外学習用バス貸出事業において、学校の授業で活用できるような、環境教育のための校外学習モデルコースを設定します。

(4) 機会づくり・場づくり

◆校外学習用バス貸出 (http://www.city.sapporo.jp/kankyo/kankyo_kyoiku/bus-rent/)

環境に関する体験学習の場を提供することを目的に、平成19年度から小学校を対象に環境教育に関する校外学習用バスの貸出事業を行っています。今年度は、中学校も対象としたところ、71校の応募があり、その全ての学校で実施する予定です。(ただし、71校のうち、2校は自主的にキャンセル)

※応募校数と採用校 ・校数はのべ数/()内は実施校 ・バス利用台数はのべ数/()内はCNGバス

	H19年度	H20年度	H21年度(予定)
応募校数	71校	77校	71校
採用校数	44校(43校)	56校(54校)	69校(66校)
バス利用台数	94台(0台)	115台(23台)	155台(19台)

校外学習の見学先や学習内容、エコライフレポートへの取り組み率などを考慮し、環境局・教育委員会で採用校を決定

※主な見学先(H20年度実績)

	分野	見学先	見学校数(のべ)
1	ごみ減量・リサイクル	清掃工場(白石、駒岡、発寒、篠路)	30
2	ごみ減量・リサイクル	札幌リサイクル団地・駒岡資源選別センター	22
3	ごみ減量・リサイクル	ばんけいリサイクルセンター	4
4	食育	丘珠たまねぎ畑、さとらんど、北方自然教育園	3
5	水とみどり	水道記念館	16
6	水とみどり	浄水場(藻岩・白川)	7
7	水とみどり	下水道科学館	8
8	水とみどり	水再生プラザ(創成川、厚別)	5
9	水とみどり	ダム(豊平峡、定山溪)	2

◆環境教育施設バスツアー (http://www.city.sapporo.jp/kankyo/kankyo_kyoiku/bus-tour/)

複数の環境教育施設を天然ガスバスで回って体験学習を行うバスツアーを、環境教育情報誌を発行する企業との共催で昨年度より行っています。今年度は市内の小学生を対象に4回実施し、のべ約120人のこどもたちに参加いただきました。

◆環境教育へのクリック募金 (<https://www.kankyo.sl-plaza.jp/bokin/>)

環境教育教材を市内の小中学校に提供するため、環境プラザのホームページにクリック募金サイトを平成17年5月から設けています。環境プラザのホームページサーバーのリニューアルに伴い、今年5月に新しいホームページに更新しました。平成21年3月末時点の累計で約808万円の募金が集まり、今年度は対象を中学校にも広げ、29の小中学校に手回し発電機や風力発電機キットなどの教材を提供した他、フードリサイクル用の野菜の苗を環境教材の対象として提供しています。

◆環境プラザにおける総合学習支援 (<http://www.kankyo.sl-plaza.jp/>)

環境教育リーダーの派遣や環境プラザの展示物を活用し、小中学校の総合学習の時間における学習の支援を進めているほか、エコ+1(エコプライチ)というシリーズ物のイベントや児童会館などのイベントへの出張などの自主事業を行っております。

◆かんきょうみらいカップ2009 (http://www.city.sapporo.jp/kankyo/kankyo_kyoiku/mirai_cup/)

フットサルなどのスポーツ・レクリエーションを通じて、環境クイズやごみ分別リレーなど、環境活動に楽しく取り組んでもらうイベントを今年8月6日に実施しました。今年度は61チーム414人が参加し、昨年度の37チーム347人を上回る参加者が集まりました。環境に関する得点の上位チームは、11月29日に開催する札幌ドーム試合の前座試合として、天然芝でサッカーの試合を行います。

◆さっぽろこども環境コンテスト (http://www.city.sapporo.jp/kankyo/kankyo_kyoiku/contest/)

小中学生を対象にした、環境活動コンテスト「さっぽろこども環境コンテスト2009」を、11月28日(土)に札幌エルプラザで開催します。今年3月に第1回目を開催し、今回2回目の開催となります。(※昨年度の実施報告書、今年度のチラシを別添しております)

[審査員]

審査員長 北海道大学大学院教育学研究院 教授 大野 栄三 氏
審査員 北海道札幌藻岩高等学校 校長 大川 徹 氏
審査員 札幌市環境局環境都市推進部長 宮田 淳

[発表団体]

小学生の部	中学生の部
平岡南小学校	宮の森中学校
藻岩北小学校	平岸中学校
川北小学校	発寒地区子ども会連絡会
平岡小学校	常盤中学校
山の手小学校	北野中学校

今後の方針

環境プラザを中心として、環境関連施設を活用した連携事業を実施します。また、既存事業を推進していきます。